

# 「石狩市自転車活用推進計画の策定について」に 寄せられた意見と検討結果について

【パブリックコメント実施期間】 平成31年2月8日（金）から平成31年3月8日（金）まで

【担当部局】 企画経済部企画課

【意見提出者】 1人

【意見件数】 2件

【意見への対応】	採用	： 意見に基づき原案を修正するもの	0件
	不採用	： 意見を反映しないもの	1件
	記載済	： 既に原案に盛り込まれているもの	1件
	参考	： 原案に盛り込めないが今後参考とするもの	0件
	その他	： ご質問・ご意見として伺うもの	0件

【意見の検討経過】 平成31年3月11日～3月25日 当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果（案）の作成  
3月26日 関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	<p>冬期間は自転車による通学は(主に中学・高校生)、皆無に近いが、雪解けと共に増えます。軽車両に属するので、車道通行は可ですが、3台、4台と横列での事もあり、車で追い越しする際に非常に危ない思いをする事が何度もありましたし、放課後は、小学生が自転車で走り回り、止まれの標識も無いが、突然飛び出してきたり、ヒヤリと何度も体験しました。自転車の安全運行について教育を徹底するよう、今一度学校に要望します。行政サイドからもお願い致します。</p>	記載済	<p>学校への自転車の安全運行教育の徹底については、「目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現」のうち、「施策15 自転車の安全利用の促進」及び「施策16 学校における交通安全教育の推進」において、自転車安全利用5則の活用等による通行ルールの周知や学校における交通安全教育の推進を継続して実施することとしています。</p> <p>これらを通じて、全ての年齢層の利用者に対する自転車の通行ルール等の周知を図るとともに、危険な乗り方の抑止につなげていきたいと考えております。</p>
2	<p>道の駅「あいろーど」が出来る以前から、夕陽を見に行っていますが、遠くからいらして見てる方々に声をかけますが、沖縄とか四国・九州からの方々も居られました。オートバイの方々は、年配の方々が多く、自転車の方は、若い方が多く、学生の方が大半を占めており、ほとんどがテントとスリーピングバッグ持参でしたが、ホテル代節約との事ですが、出来れば、屋根のある所で休みたいとの事。オートバイの方々は、一旦札幌に戻るとか、留萌まで走るとか言ってましたが、自転車の方々は、キャンプするという方々が大部分でしたが、キャンプが本意ではないとの事です。「あいろーど」には、広いスペースが見受けられますが、簡易ベッドと毛布2枚位で1泊2000円位で開放しては如何なものでしょうか。準備や盗難防止の為に当直の人件費等課題も多いかとは思いますが、ご検討下されたく思います。厚田の夕陽とか白銀の滝とか黄金岬とか石狩の人より遠方から来られた方々の方が知ってる様に思われました。今は色々な通信手段が発達しており、「あいろーど」で格安に泊まれると知れば、石狩に観光に来る人も増えて、石狩の知名度UPにつながるのではと思います。</p>	不採用	<p>道の駅石狩「あいろーど厚田」は宿泊を想定した施設ではないため、開放するには課題が多く、実現は困難であることにご理解をお願い致します。</p>